

第2回くるめ環境表彰
環境行動賞 受賞者一覧

(個人・団体順、50音順、敬称略)

分野	受賞者名	具体的な活動内容
ごみ減量・リサイクル	ダイハツ九州株式会社久留米工場	複合廃プラスチックのカテゴリーの基準を決めて、鉄・アルミの複合割合多い物を有価物カテゴリーに業者と交渉して取り込み。また従業員に周知するため、教育を実施
地球温暖化対策	叡醂酒造株式会社	2棟ある工場建屋の南側の屋根にソーラーパネルを設置し、北側の屋根に遮熱塗料を配布。太陽光発電により年間使用電力の約1/3を節約、約67.3トン-CO2削減を計画。遮熱塗料ミラクールは太陽光を約90%反射するため、建物が受ける熱の影響を軽減させる効果を発揮。これにより工場内の環境を改善し、夏の冷暖費を約41.6%ダウンすることが可能となった
自然環境保護・生物多様性	高良山竹林環境研究所	高良山の荒れた竹林を整備することにより土砂災害を未然に防ぎ、「硬くて食べられない」と不要とされていた伸びた竹の子を採取することで竹の乱立を防ぐと共に、美味しく食べられる純国産メンマを作る。また、竹林整備やメンマづくりを地域の方々や子供たちと行うことにより地域連携を図る
自然環境保護・生物多様性	鷹正宗株式会社	主力商品である「めっちゃうま麦25度 2Lパック」のご購入1本あたり2円を森林保全活動を行う組織「九州沖縄グリーンプロジェクト」に寄付している
環境教育・学習	松本 幸博	宮ノ陣クリーンセンターの工場見学の案内においてごみ処理方法や設備について説明。 夏休みに小学生を対象とした環境に関する自由研究講座の開催。 宮ノ陣クリーンセンターが主催するイベントのサポート
環境教育・学習	久留米工業大学 学生団体 Picture	筑後川防災施設くるめウスで子ども達へゲームを用いた環境教育を行っている。 ・筑後川弾幕の夜明け 本作は筑後川に生息する魚が登場するシューティングゲームとなっており、小さい子供から大人まで楽しみながら遊ぶことができるゲームとなっている。また、登場した魚の詳細を知る機能が実装されている。 ・筑後川おさんぽAR 本作は専用のマーカに携帯端末をかざすことで筑後川に生息する魚が飛び出してくるAR作品となっている。最も大きな特徴としてどこからでも筑後川に生息する魚を見ることができることが挙げられる。 作品紹介動画： https://www.youtube.com/watch?v=IoHvGN18ZHc

第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】 ゴミ減量・リサイクル

【受賞者名】 ダイハツ九州(株)久留米工場 (代表者) 取締役工場長 榊 義人

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
団体	500	

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成 28 年 (2016 年)	ほぼ毎日	工場、敷地内、廃棄物置場

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	産業廃棄物の低減。
活動の目的	廃棄物を有価物に取り込み、クリーン化のため。
具体的な活動内容	複合廃プラスチックのカテゴリーの基準を決めて、鉄・アルミの複合割合多い物を有価物カテゴリーに業者と交渉して取り込み。また従業員に周知するため、教育を実施。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

廃棄物が低減することで、カーボンニュートラルにもつながる。

(4) アピールしたいポイント

産業廃棄物を有価物へ取り組み試行。

(5) 他団体とのかかわり

--

第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】地球温暖化対策

【受賞者名】叡醜酒造株式会社 （代表者）濱崎 公孝

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
事業者	11	-

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2021年12月 (令和2年)	-	叡醜酒造

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	社会の一員として鷹正宗がカーボンニュートラル及び SDGs への取組み進めると決めた事から
活動の目的	太陽光発電（ソーラーパネル）の設置・屋根の遮熱塗料を採用し、CO2 排出量が“実質的に”ゼロとなる工場「CO2 ゼロ工場」を目指しています。
具体的な活動内容	2021年6月に設置の計画を策定し、2022年12月に工事が完了しました。2棟ある工場建屋の南側の屋根にソーラーパネルを設置し、北側の屋根に遮熱塗料を配布しました。 太陽光発電により年間使用電力の約1/3を節約、約67.3トンCO2を削減を計画しています。遮熱塗料ミラクールは太陽光を約90%反射するため、建物が受ける熱の影響を軽減させる効果があります。これにより工場内の環境を改善し、夏の冷暖費を約41.6%ダウンすることができます。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

ソーラーパネルにより年間使用電力の1/3の節約を約20年間続けます。また遮熱塗料により約10年間冷暖費の節約につながります。

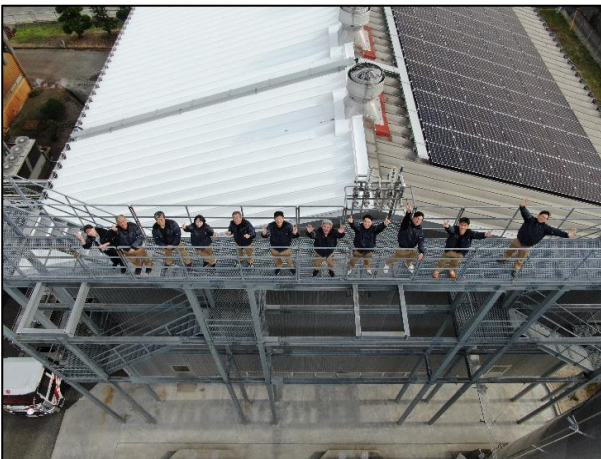
(4) アピールしたいポイント

年間約 67.3 トン-CO₂ の排出量の削減につながります。

また、ボイラーで作った熱湯を通す配管に断熱材を巻くことで熱湯の放熱と室内の温暖化を防ぎ空調にかかる電力を減らすなど、今後も省エネに向けた活動を行っています。表彰に該当する

(5) 他団体とのかかわり

<参考画像>



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】自然環境保護・生物多様性

【受賞者名】高良山竹林環境研究所 (代表者) 渡辺 琢磨・本多 修三

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
団体	2	

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2022年4月 (R5年)	月に数回	高良山周辺

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	高良山にある渡辺の実家周辺の竹林。放っておくと荒れる一方で土砂災害を引き起こす為管理をどうしようか頭を悩ませていた。数年前から周りに相談していたところ、2022年4月知人より「糸島で竹林問題に取り組みメンマづくりをされている方がいる」と声をかけられ糸島へ。考え方に共感し久留米でもやれるか、ととにかく活動を開始した。
活動の目的	高良山の竹林整備による災害防止と美竹林化や不要とされていた伸びた竹の子の活用 地域の方々との連携
具体的な活動内容	・2022年4月糸島でメンマづくりを学び、高良山の伸びた竹の子で純国産メンマづくりを開始。 7月より商品化に向けネーミング、味付けやパッケージ方法、衛生管理など相談を繰り返し、 11月よりテスト販売開始。市内のイベントにて出店(10/23: 耳納でフェス@緑化センター 12/4: くるめソーシャルグッド@久留米大学 12/7: フラムフェス@農と音2号館) ・10月、長年高良山の環境整備に注力されていた地域の市議の方の声掛けで高良山に関わる地元のボランティア団体の方々や市役所の方々へ私たちの活動内容を御井校区コミセンにて説明会開催。11月、12月に賛同頂いたみなさまと高良山の竹林整備を行った。まずは大量に倒れている枯れた竹を集めるところから開始した。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

これまで、関わる人が限られていた放置竹林の整備に新たな関わり方の間口を創出してくれました。このような仕組みがもっと他の環境保全にも浸透していく事ができれば、持続可能な環境が築かれると感じています。

(4) アピールしたいポイント

高良山の荒れた竹林を整備することにより土砂災害を未然に防ぎ、「硬くて食べられない」と不要とされていた伸びた竹の子を採取することで竹の乱立を防ぐと共に、美味しく食べられる純国産メンマを作る。また、竹林整備やメンマづくりを地域の方々や子供たちと行うことにより地域連携を図る。表彰に該当する

(5) 他団体とのかかわり

高良山ボランティアガイドの会・高良山の森と環境を守る会・高良山奉賛壮年会
御井校区まちづくり振興会

<参考画像>

おいしい食べて竹林整備！

くるめ 高良山 メンマ

里山を守り次の世代へつなぐため
竹林を整備し作りあげた最強メンマです！
#試作品大好評 #男のつまみ #ごはんにも
#ごま油鶏ガラ酒醤油など #薄味が好き #明楽特製ラー油

新
久
留
米
物

BAMBOO OF KITCHEN



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】自然環境保護・生物多様性

【受賞者名】鷹正宗株式会社 （代表者）濱崎 公孝

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
事業者	54	-

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2022年9月	ほぼ毎日	六ツ門本社、大善寺蔵

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	社会の一員として鷹正宗がカーボンニュートラル及びSDGsへの取り組み進めると決めた事から。
活動の目的	対象商品のご購入により1本あたり2円を森林の保全活動に寄付をします。 対象商品を年間約100万本販売している「めちゃうま麦 25度 2Lパック」とすることで、多くのお客様に森林保全活動の一役を担っていると感じてまいります。
具体的な活動内容	森林保全活動を行う組織「九州沖縄グリーンプロジェクト」は八女市の西田造林様を中心に設立しました。 弊社はこの活動に賛同し、主力商品である「めちゃうま麦 25度 2Lパック」のご購入1本あたり2円の寄付を行っています。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

弊社の主力製品である「めちゃうま麦 25度 2Lパック」は継続的に全国へ販売しており、今後も拡売を計画し年間200万本を目指しています。
「めちゃうま麦 25度 2Lパック」ご購入いただく多くのお客様に森林保全を認識していただきます。

(4) アピールしたいポイント

(5) 他団体とのかかわり

九州沖縄グリーンプロジェクト

<参考画像>



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】 (代表者) 松本 幸博

1. 概要

(1) 活動人数

部門	単独	複数で活動している場合の人数
個人	単独	—

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成 28 年 (2016 年)	月に 4 回	宮ノ陣クリーンセンター

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	<p>1999 年に大牟田市から転入して、久留米市の事をもっと知りたいたと思っていました。</p> <p>2015 年 12 月に 64 歳で退職しましたが、タイミング良く宮ノ陣クリーンセンターの「環境交流プラザサポーター」募集があり、公共のごみ処理設備について興味がありましたので応募させて頂きました。</p>
活動の目的	<p>化学会社でのごみ焼却炉や排水処理設備を含めたプラントの設計・建設の経験を活かして、ごみや資源物の処理方法、設備の内容について分かりやすく見学者に説明する中で、ごみの分別やなるべくごみを出さないことの大切さに気付いて頂きたい。</p>
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・工場見学の案内においてごみ処理方法や設備について説明。 ・夏休みに小学生を対象とした環境に関する自由研究講座の開催。 <p>テーマ例は【生ごみの水を減らそう、汚れた水をきれいにしよう、雨が降る仕組みを実験してみよう】などです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮ノ陣クリーンセンターが主催するイベントのサポート。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

- ・ごみの減量などの環境問題への気づきや行動の変化の促進。
- ・焼却設備の環境対策等を知って頂くことで、クリーンセンターのイメージアップと漠然とした不安感の解消。
- ・自由研究の講座を通じて、子どもたちの ” エコに関する科学” への興味・関心の向上。
- ・併せて、私自身のスキルアップにもなりました。

(4) アピールしたいポイント

- ・ごみ焼却設備の設計・建設を通して得た知識・経験を生かした分かりやすい説明で、来館者にクリーンセンターを身近に感じて頂き、ごみの減量などを意識してもらえればと考えています。
- ・サポーターとしての活動を通じて色々な体験ができ、自己のスキルアップにもなって積極的に取り組むことができています。
- ・サポーターを長く続けることができているのは、他のサポーターの方々や職員の皆さんと楽しく活動できたおかげだと思っています。表彰に該当する

(5) 他団体とのかかわり

環境交流プラザサポーター

第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】久留米工業大学 学生団体 Picture （代表者）池田 雄一郎

1. 概要

(1) 活動人数

部門	学級		学年	全校
	年組	人数		()人中()人活動
学校	—	24	—	24人中 15人活動

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2021年4月 (R4年)	週に数回	久留米工業大学、筑後川防災施設くるめウス

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	くるめウスでは、2020年からの新型コロナウイルス感染拡大により、筑後川防災施設くるめウスで開催されていた、子供達の野外での観察会や、施設内での対面環境教育の実施が困難になっていくとの課題があった。くるめウスの他の活動に参加していた久留米工大の教員（推薦者）が Picture と繋ぐ形で、非対面でも環境教育が行えるデジタルコンテンツの制作が始まったのがきっかけ。
活動の目的	近年教育現場におけるゲーミフィケーションの考え方が重要視されている。そこで、環境教育においてもゲームを用いた方法をとることで新型コロナウイルス感染を考慮した学習機会を用意することが可能であると考えている。また、フィールドワークと比較した場合に危険性がないことから監督者なしでも子供が体験することができるため、時と場所を選ばない点も大きな要素である。
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・筑後川弾幕の夜明け 本作は筑後川に生息する魚が登場するシューティングゲームとなっており、小さい子供から大人まで楽しみながら遊ぶことができるゲームとなっている。また、登場した魚の詳細を知る機能が実装されている。 ・筑後川おさんぽ AR 本作は専用のマーカに携帯端末をかざすことで筑後川に生息する魚が飛び出してくる AR 作品となっている。 本作の最も大きな特徴としてどこからでも筑後川に生息する魚

	<p>をることができることが挙げられる。</p> <p>現在はまだ計画段階ではあるが、マーカを筑後川流域にある名所などに設置することで、魚を集めながら筑後川の名所を回ってもらえるような遊び方をしてもらえるよう考えている。</p> <p>作品紹介動画 : https://www.youtube.com/watch?v=IoHvGN18ZHc</p> <p>また、本作品群は 2021 年 12 月に佐賀県神崎市で実施された筑後川フェスティバル in 神崎をはじめとする、複数の展示および発表を行っている。</p>
--	--

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がり在今后期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

<p>1. 環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる生物多様性の保全は、地域にどのような生物がいるのか、知ることから始まります。30万都市久留米の湿地（含河川）には、驚くほど多様な生物多様性があります。近くの川や湿地にどのような生き物がいるのか、子供等に知ってもらうことは持続的な社会をつくることの第一歩だと考えます。</p> <p>2. 多くの人と一定の面的広がり在今后期待できる</p> <p>本取り組みは、大学—学生—公共施設が一緒になって作り上げたものです。またくるめウス利用者のフィードバックから、現在も改善を重ねています。生き物好きの子供たちをはじめ、アプリ制作やプログラミングに興味のある子供たちからの反応もあり、今後の活動の広がりが期待されます。</p> <p>3. 持続的な発展に向けた工夫や独創性がある環境教育とデジタルコンテンツとの融合の試みは大規模な施設以外ではなかなか見られず、新規性があります。また地域に特化した生き物を扱っている点で、久留米独自のコンテンツになっていると思われます。</p> <p>4. 波及効果や啓発・教育の効果がある</p> <p>ゆめタウン横にあり、多くの来館者があるくるめウスに設置されていることで、高い波及効果や啓発・教育効果が期待されます。</p>
--

(4) アピールしたいポイント

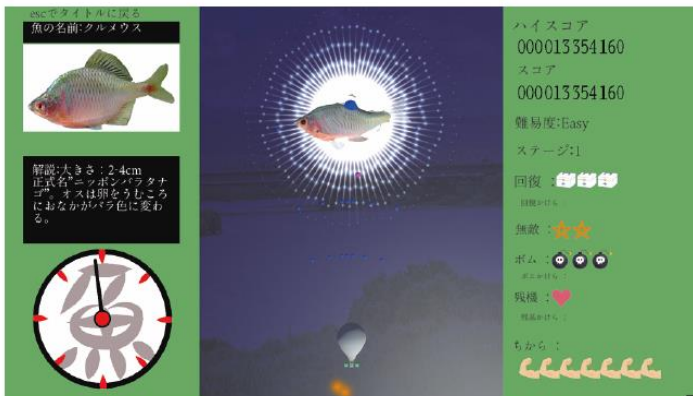
<p>近年教育現場におけるゲーミフィケーションの考え方が重要視されているほか、子供のゲーム年齢が近年低下していることもあり、ゲームを用いた環境教育は今後有効な手法になると考えられる。本活動をきっかけに、環境保護だけでなく、久留米におけるもっとも大きな環境のテーマである防災教育などにおいても活動を継続していけると考えている。表彰に該当する</p>

(5) 他団体とのかかわり

NPO 法人北九州魚部に生物の生態について監修いただいた上で 4 点の筑後川に生息する魚をテーマとしたコンテンツを作成し 2022 年 5 月より完成したコンテンツを筑後川防災施設くるめウスにて展示を開始し多くの来場者に体験いただいている。また、2022 年 12

<参考画像>

筑後川弾幕の夜明け



実際の体験中の様子 (※保護者に許可を得て撮影しております)

お魚に変身

